泉屋博古館東京
SEN-OKU
HAKUKOKAN
MUSEUM TOKYO

PRESS RELEASE

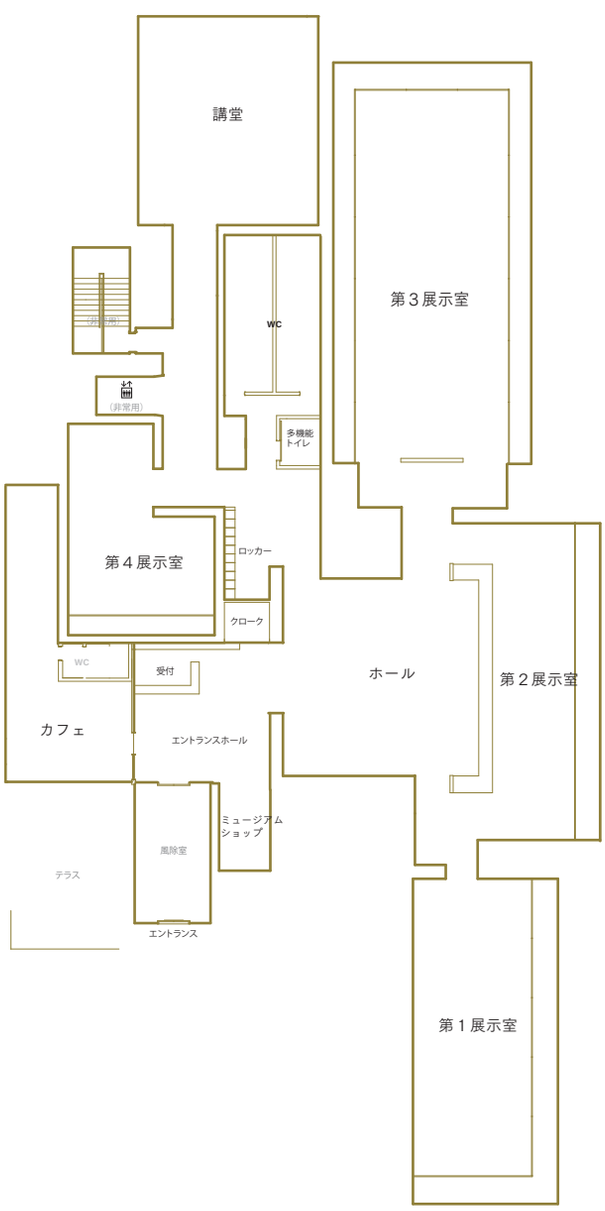
2022年 春 リニューアルオープン

泉屋博古館東京（旧･泉屋博古館分館、以下「当館」）は、泉屋博古館（京都･鹿ケ谷）の分館として、東京･六本木一丁目の住友家旧麻布別邸跡地に 2002 年 10 月開館しました。以降 18 年間にわたり、館蔵の近代絵画や工芸品、茶道具などをご紹介する展覧会や、京都本館所蔵の住友コレクションの名品を東京で展観する特別展を企画し、東西両館のシナジーを生かした活動を続けてまいりました。

当館は 2019 年末の「金文」展終了をもって改修工事のための長期休館期間に入り、2020 年 4 月 1 日に着工。工事は新型コロナウイルス感染症への十分な対策を講じながら順調に進み、2021 年 9 月に竣工しました。

2021 年 4 月に館名を「泉屋博古館東京」へ変更し、開館 20 周年を迎える 2022 年 3 月にリニューアルオープンいたします。展示スペースの拡大とともに、カフェやミュージアムショップ、講堂などを新設し、ゆとりある鑑賞空間でより満足度の高い時間をお過ごしいただける美術館として再出発いたします。六本木一丁目のビジネスエリアの中にありながらも、豊かな緑に囲まれた安らぎの場として、今後も多くの皆様に親しんでいただけるよう活動してまいります。

フロアマップ



《建築概要》

改修工事

2020 年 3 月 30 日～ 2021 年 5 月 31 日

設計・監理　株式会社日建設計

施工　建築工事 ： 三井住友建設株式会社

電気設備工事 ： 住友電設株式会社

空調設備工事 ： 株式会社三晃空調

衛生設備工事 ： 日比谷総合設備株式会社

延べ床面積　1,740.11 ㎡

構造・階数 鉄筋コンクリート

地上 1 階（展示室 4 室・講堂・ミュージアムショップ・カフェ）、

地下 1 階（事務室等）

展示室ケース　改修工事

2021 年 6 月 10 日～ 2021 年 8 月 5 日

設計・制作・施工　コクヨ株式会社

〔参考〕泉ガーデン再開発当時（2002 年 ）

設計・監理　株式会社日建設計

施工 建築工事 ： 住友・銭高・大成

特定建設工事共同企業体

電気設備工事 ： 住友電設株式会社

空調設備工事 ： 株式会社三晃空調

衛生設備工事 ： 日比谷総合設備株式会社

昇降機工事 ： 株式会社日立製作所

延べ床面積　1,363.11 ㎡

構造・階数 鉄筋コンクリート

地上 1 階・地下 1 階

第３展示室（改修）

既存展示室もすべて改装
および、空調設備・照明
機器（LED 化）の更新と
ケース改修を行いました。

第１展示室（改修）

従来コの字形に配されていた壁面ガラスケースの
１辺を壁面にし、鑑賞空間を広げました。

第２展示室（新設）

第１展示室と第３展示室をつなぐ、新しい展示室。
第１・第２・第３展示室は統一した内装としました。

第４展示室（新設）

小ホールを挟み、講堂側に新しく作られた展示室は、
唯一、他の３室とは少し趣を異にしたしつらえです。
邸宅の雰囲気を感じさせるような空間で、
美術品をご覧いただくお部屋です。

エントランス、ホール、小ホール

エントランスホール（改修）

エントランス・風除室の間口を広げ、ゆったりとした印象のある空間に、入館受付・館内ご案内専用カウンターを設置しました。キャッシュレス決済にも対応いたします。

ホール（上）、小ホール（右）（改修）

改修前の姿を残しながらも、壁面に時間や歴史の積み重ねをイメージさせる版築仕上げを施し、変わらない部分と新しさが調和する空間となりました。正面中心部のガラスケース内に作品が展示されます。

小ホールにはロッカーを増設。また、トイレの個数を増やしたほか、多機能トイレ設備も更新し、館内でより心地良く快適にお過ごしいただけるよう整備しました。

講堂、ショップ、カフェ（HARIO CAFE）

講堂（新設）

展覧会関連イベントや、連続講演会などの
ラーニングプログラムを行ないます。
スクール形式で 40 名、シアター形式で 80 名収容可。

ミュージアムショップ（新設・現在準備中）

絵はがきや各種図録を販売するほか、館蔵品モチーフの多様なオリジナルグッズをリニューアルオープンに向けて、制作中です。展覧会の内容や季節に合わせた商品なども取扱う予定です。

カフェ（新設・2021 年 10 月 1 日オープン）

HARIO CAFE 泉屋博古館東京店

2021 年 10 月 1 日、1921 年の創業より多くのコーヒー器具をつくってきた「HARIO」直営のカフェが泉屋博古館東京の館内にオープンしました。
HARIO の器具で淹れたスペシャリティコーヒーや紅茶をお楽しみいただけるほか、それらのコーヒー器具やティー器具を実際にさわってご購入いただくことができます。
また、店内では、HARIO Lampwork Factory のガラスアクセサリーも販売いたしております。
修理の受付や店舗限定デザインのアクセサリーもございますので、コーヒーと一緒に楽しんでいただけますと幸いです。

営業時間：11:00 ～ 18:00（年中無休）
Website : https://hariocafe-lwf.com/
Instagram : hariocafe_senokuhakukokan

基本情報・アクセス

《基本情報》 ※開館時間等は、今後変更する可能性があります。

館　　名：泉屋博古館東京（せんおくはくこかんとうきょう）
SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO

住　　所：東京都港区六本木 1-5-1

電　　話：050-5541-8600（ハローダイヤル）

観 覧 料：一般　　企画展1,000円（800円）・特別展1,200円（1,000円）
高大生　企画展600円（500円）・特別展800円（700円）
※20名様以上の団体のかたは（　）内の割引料金
※障がい者手帳等ご呈示のかたはご本人および同伴者一名まで無料です
※展覧会により料金が変更になることがあります

開館時間： 11:00 ～ 18:00（入館は 17:30 まで）
※金曜日は 19:00 まで（入館は 18:30 まで）

休 館 日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、展示替え期間中、年末年始

Ｕ Ｒ Ｌ：https://sen-oku.or.jp/tokyo/

《アクセス》

東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅下車
北改札正面 泉ガーデン 1F 出口より
屋外エスカレーターで徒歩 3 分

東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車
4b 出口より徒歩 10 分

東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅下車
13 番出口より徒歩 10 分

VI（ヴィジュアル・アイデンティティ）について

公益財団法人泉屋博古館は、2020年に開館60周年を迎えた泉屋博古館と、本年4月に館名を変更した泉屋博古館東京の二館を運営しています。泉屋博古館東京は、昨年からの改修工事休館を経て、開館20周年となる2022年にリニューアルオープンします。東と西、それぞれで節目を迎えたこの機会に、将来にわたり活動の道しるべとなるよう、住友コレクションを有する「泉屋博古館」という共通のアイデンティティを表すシンボルマークと、各館のロゴタイプとの組み合わせによるVIを制定しました。

＜シンボルマークについて＞
当館の名称となっている「泉屋（せんおく）」は、銅の製錬業を営んでいた住友家が江戸時代に用いた屋号「泉屋（いずみや）」にちなむもので、「泉」は住友を象徴する語とされてきました。
「泉」という文字の歴史をひもとくと、当館コレクションを代表する中国古代青銅器に記された文字＝金文にたどりつきます。その形はまさに岩穴から水が湧き、広く流れでる様子をかたどっています。当館のシンボルマークはこの古代文字をもとに生まれました。
泉から湧き出た水がやがては大河をなすように、当館の活動が広く文化の発展に資して、訪れる人の日常に豊かな光彩を添えるといったイメージがそこには重ねられています。古代の造形を継承したおおらかで力強いフォルムは、太古から連なる深遠な歴史の語り部として、さらに金色の円形は創造性ゆたかな新しい文化の発信地として――このマークは、多くの方々にとってそのような存在でありたいとする当館の思いをあらわしたものです。

泉屋博古館東京リニューアルオープン記念展 I

日本画トライアングル

2022 年 3 月 19 日（土）～ 5 月 8 日（日）

泉屋博古館東京リニューアルオープン記念展 II

光陰礼讃　― モネからはじまる住友洋画コレクション

2022 年 5 月 21 日（土）～ 7 月 31 日（日）

泉屋博古館東京リニューアルオープン記念展 III

古美術逍遙（しょうよう）　― 東洋へのまなざし

2022 年 9 月 10 日（土）～ 10 月 23 日（日）

特別展

生誕 150 年記念　板谷波山の陶芸

2022 年 11 月 3 日（木・祝）～12 月 18 日（日）

（巡回：泉屋博古館 2022 年 9月3日（土）～10月23日（日）　ほか）

＊各展の詳細につきましては、泉屋博古館東京 2022 年間スケジュール（別紙）をご参照ください。

公益財団法人　泉屋博古館について

当館は、住友コレクションをはじめとした美術品を保存、研究、公開する美術館です。
所蔵品は中国古代青銅器をはじめ、中国・日本書画、西洋絵画、近代陶磁器、茶道具、文房具、さらには能面・能装束など幅広い分野にわたり、現在は3,500点（国宝2件、重文19件、重要美術品60件を含む）にのぼります。当館事業の趣旨に賛同する住友グループ各社の支援のもと、京都・東京それぞれ地域の特性も活かしながら展覧会を開催し、当館の魅力を発信しています。

https://sen-oku.or.jp/tokyo/
Facebook ：@SenOkuHakukoKanTokyo
Twitter ：@SenOkuTokyo
Instagram：senokuhakukokanmuseum_tokyo

《本件に関するお問い合わせ》
公益財団法人泉屋博古館　泉屋博古館東京
（広報担当：橋本）
TEL：03-3584-8136　FAX：03-3584-8137
E-mail：pr-tokyo@sen-oku.or.jp

プレスリリースダウンロード・
画像貸出は↑こちらから

泉屋博古館東京 SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO

当館について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、本リリースに紹介されている作品画像をデータでお貸し出しいたします。ご希望の図版に☑を記し、用紙を FAX またはメール添付にて返信のうえ、お問い合わせください。ご紹介いただく記事、番組内容については、情報確認のため校正の段階でお知らせください。画像を１点以上ご掲載の上ご紹介くださる媒体に対し、展覧会招待券を読者プレゼント用に提供いたします。申込書の所定の欄に招待券希望の旨を明記下さい。（ご招待券の提供は、印刷スケジュールの都合上、展覧会開催の２～3 ヶ月前となります。あらかじめご了承ください。）

掲載に関するお問い合わせ先：泉屋博古館東京　（担当：橋本　pr-tokyo@sen-oku.or.jp）
TEL.03(3584)8136　FAX.03(3584)8137　https://sen-oku.or.jp/tokyo/

掲載・画像貸出申込書　(FAX：03-3584-8137)

●貴社基本情報

会社名：	
担当部署	担当者名：
住所：〒	
電話：	ファックス：
E-MAIL：	

●媒体情報

新聞	媒体名：	
雑誌	発行日：	発売日：
TV	媒体名：	
ラジオ	放送日：	放送時間：
ネット	URL：	

●画像貸出リスト　※館名（泉屋博古館東京）を必ず入れてください。

希望画像に☑	画像No.	カット（掲載順）
□	1	館外観（日中）
□	2	第３展示室（改修）
□	3	第１展示室（改修）
□	4	第２展示室（新設）
□	5	第４展示室（新設）
□	6	エントランスホール
□	7	ホール

希望画像に☑	画像No.	カット（掲載順）
□	8	小ホール（ロッカー）
□	9	講堂
□	10	ミュージアムショップ
□	11	カフェ（外観・テラス）
□	12	カフェ（客席）
□	13	遊歩道
□	14	館外観（夕景）

●読者プレゼント用チケット希望：　□５組１０名様　□１０組２０名様

(希望展覧会名：　　)